



PRESS RELEASE

2013年1月4日

森トラスト株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17
虎ノ門2丁目タワー
お問い合わせ先: 広報部
TEL 03-5511-2255 FAX 03-5511-2259

2013年 年頭所感 ～これからの経営戦略～

森トラストグループ 代表 森 章

昨年は、米国大統領再選や中国の指導者交代、欧州債務危機など、世界で大きなトピックがあり、大変革を予感させる年であった。日本においても昨年末に政権交代が起こり、今年は停滞した経済状況の打破が期待される。長引くデフレが日本の景気回復の足かせとなってきたが、新政権はインフレターゲットを強く打ち出している。デフレ脱却へ向け、まずは積極的な金融・財政措置がとられることを期待したい。

一方で、持続的な経済成長には成長戦略の実行が不可欠である。主要都市でのインフラ老朽化対策など緊急性の高い公共投資とともに、成長分野を育成する必要がある。特に防災・エコ・エネルギー分野の成長は、社会課題の解決にもつながる。

当グループは昨年、不動産事業として高水準の防災・エコ・エネルギー性能を備えたスマートビル「京橋OMビル」を手掛けた。震災後変化したテナントニーズに合致し、昨年9月の竣工前に満室となった。来年2月に竣工予定の「京橋トラストタワー」などの新規開発においても、テナント企業の高度なBCP(事業継続計画)実現に資する取り組みを進化させていく。

さらに、今後の国内不動産開発では、エリア全体の将来像を視野に、開発用地に合った主要用途を柔軟に検討すべきと考えている。エリアによってはオフィスに限定せず、例えばサービス付きの高級住宅などが適する場合もある。付加価値の高いサービス提供が求められるため、ハード面のみならずソフト面の開発力を高めていく必要がある。

当グループはここ4年間、不安定な経済情勢を鑑み、極力投資を控えてきた。経営の力点を安定性に置き、自己資本比率を引き上げ、十分な投資余力を貯えた。主要事業である「不動産事業」「ホテル&リゾート事業」「投資事業」は、いずれも上昇基調にある。低金利や円高で国内外問わず投資しやすい環境であることを踏まえて、今年はグループの成長へと舵を切り、海外での新規投資を含め、積極的な投資を検討したい。

都市改造への潜在的な社会ニーズは高い。当グループにおいても今年は攻めに転ずる好機と捉え、社員全員で大いに挑戦していく。

以上